

ひまわり通信

SSKS

No.104



令和四年度展望!!

代表理事 隅 一 清

コロナ禍の元、令和四年度を迎えました。三年度を振り返ってみると、行事予定の方はほとんどが中止になっていきます。年間計画予定の日帰りバス旅行は、半分が中止になりました。書道、俳句、絵手紙教室も三か月しか実施出来ない状態でした。

幸い本業の移送事業の方は、例年通りの運行でしたので、運営面に於いては、何ら支障はありませんでした。

コロナも、この記事を書いている時は、東京都で一日四千〜五千人の感染者が出ていますが、二十代、三十代の若者が多いようです。症状も軽いようで、夏風邪を引いた位しか思っていないので、現実には実数はもつと多いのではないのでしょうか。

四月末には、理事会を開き、三年度の決算報告と事業報告、四年度の事業計画と事業予算を協議しました。

毎月行っている、ひまわり事業の内、日帰りバスハイクと研修旅行に、今年度は公益財団法人公益推進協会の「加藤岳代基金」から

四十万円、助成金を頂きました。お陰で、今年度のバス旅行は、値上げもせずに済み、車イスを押ししたりするボランティアの方々の、金銭的な負担も減らすことが出来るので、大変感謝しています。

今年度は、バス旅行の回数も減らしたので、区が提供してくれるバス二回を一回にして、リフト付きバスを利用しようと、先日開かれた説明会で話したら、一年前に区とバス会社で調整されていて、今年は無理との事でした。その為、今年度の区のバスは、九月のぶどう狩りと、二月の梅見旅行に使用することになりました。

現在、会で移送事業に使用している車両は八台ですが、その内の二台がかなり老朽化して、整備費等に経費が掛かるようになってきました。二十四時間テレビや日本財団等に応募しても、なかなか思うようにはいきません。現在の毎日の移送利用人数から考えると、一台減らしても移送は可能なので、減らす方向で検討中です。



今年開催される、NPO団体の運営協議会に料金改定を申請する団体もあるようですが、ガソリン代が高騰している昨今の現状からみればやむを得ないですね。
ただ、他の団体は時間と距離の併用で、基本料金を設定しているのですが、当会は一キロ一七〇円として時間料金は設定していません。八年前に二〇円の値上げを申請して却下され、値上げをするのに二年もかかった苦い経緯があります。
幸い当会の更新は、令和五年度なので、今年の団体の更新を参考にして、申請する予定でいます。

「障がい者スポーツの力」

サニー・けあサポート 實井茂人

弊社で6年にわたり勤務してくれたWさんがこの春に急逝致しました。

コロナ禍の3年間は在宅勤務でしたが、以前は電動車椅子で電車通勤し、請求事務や社員の給与計算等の業務を担当してくれていました。

Wさんには先天性の進行性難病があり、小学校、中学校は地域の公立校に通っていましたが、体育の授業はライン引きや得点板係り、または見学だったそうです。

スポーツに関しては傍観者でしかなかったWさんに、一競技者になれることを教えてくれたのが養護学校(現在の特別支援学校)時代に出会った障がい者スポーツでした。

ボッチャに始まりハンドサッカーや電動車椅子スラローム、ビーンバツグ投げと多岐にわたる競技にチャレンジしました。

今でこそパラリンピックもテレビ中継がありますが当時はメディアに出ることも無く、どんな種目が有るのかさえ広くは知られていませんでした。

その後大学に進学したWさんは個人登録で東京都障害者スポーツ大会に参加するようになり、東京都代表として国体の後に開催される全国障害



者スポーツ大会にも出場し、陸上のスラローム競技では優秀な成績を収めています。

中学生の時にインターネットで自身の障害を調べ難病の実情を知り、一生スポーツをあきらめていたWさんでしたが、障がい者スポーツに出会ったことで、自分の障害に向き合い健康管理にも気を配るようになったそうです。

また、スポーツ大会に参加する中で記録向上という目標もでき、競技を通して多くの人ともつながり、同志やライバルと切磋琢磨するといふ楽しみも生まれたようです。

障害がありながらも可能性を探り、障がい者スポーツに出会ったWさんは「スポーツから人生に彩りをもらった」と話していました。Wさんからご縁を頂き、介助者としてスポーツ大会に同行する中で、私も出会った多くの選手から力を貰うことが出来ました。Wさん、ありがとうございました。

ひまわり句会

大谷のり子 選

お巡りさん肩を回して春隣
公園の春まだ浅き芝生かな
春炬燵一人の午後に茶を淹れて
春色のセーター母の手を思ふ
門灯の今宵臙に人の声

宮澤 みどり

大谷のり子
日脚伸びガラスポットのハーブティ
啓蟄やラグビーボール地に跳ねて
菜の花の道は海へと続きけり
風船の兔を生んでじエロの手
美容室椅子をぐるりと春の昼

亀井 歌子

鉄塔に当る光や冬落暉
ぶらんくに犬乗せられて冬日和
蠟梅に戻りて触れて人の家
曙杉天まで伸びて鳥の恋
春光や柿の木坂を闊歩して

藤田 勝美

水仙のかをり右向き左向き
鬼やらひ一夜明けたる寒さかな
春の雪枯木に花を咲かせけり
箱根路や梅の香に誘はれて
塩漬の葉のやはらかに桜餅

羽山 貴子

冬椿落ちて掃かれてしまひけり
寒中の手指隈なく洗ひけり
風花や舌の転がる音のして
カーテンを漏るる光や春の朝
転た寝に良き場所を得て春の昼

作田 志津子

真つ白のファーストシューズ春隣
衿元に絹のぬくもり浅き春
夜の更けて恋猫たちのボルテージ
紙雛を窓に貼りつけ保育園
おしやへりも運動のうち春うらら

行事報告

◎三月日帰りバス旅行

ひたち海浜公園 三月二十七日(日)

ひたち海浜公園は広いので、車イスを押しでの散策は大変なのですが、水仙の見学場所が、正面入口から入って、すぐ近くにあるので、久しぶりに見に行ってきました。花も最盛期で、黄色や白い水仙が、見事に咲き乱れていました。

園内には、菜の花も咲いていたので、黄色一色といった感じでした。所どころに咲いている、ピンクの桃の花が、素敵なアクセントになっています。

ここは、水仙の花の後は、ネモフィラの花が斜面一面を、海のように咲くので、その時の方が人出が多いようです。

見学の後は、那珂湊にある料理店で昼食を頂き、市場に買物に行き夕食の材料を買って、帰路につきました。参加者二十一名



◎四月日帰りバス旅行

ぐんまフラワーパーク 四月十七日(日)

前日の嵐のような天気とは、打って変わって快晴に恵まれて、野沢を出発！

関越道も、渋滞に合わず高坂SAでトイレ休憩の後、高崎ICから北関東自動車道に入り、前橋南ICで高速を降りました。本来だと、関越自動車道を直進して、駒寄PAで高速を降りれば、早いのですが、ここはスマートICでバスは出られないのです。

国道40号を通過して、大胡を過ぎ予定通りに屋前に、ぐんまフラワーパークに到着しました。早速、昼食を食べ、三時まで自由行動にしました。目的のチューリップは、最盛期で赤、白、黄色、オレンジの花が見事でした。八重桜や、花水木の花も咲いて、風も無く散策には、申し分ない陽気でした。帰りは定番の道の駅に寄って、買物をして無事野沢に戻ってきました。

参加者十九名



◎ひまわり事業に「加藤岳代基金」の助成が決まりました。

公益財団法人公益推進協会「加藤岳代基金」から、ひまわり事業のバス旅行と研修旅行に助成金四〇万円が決定致しました。ここ数年、ひまわり事業は赤字でしたので、今年度の旅行は値上げも検討していましたが、おかげで値上げせずに行けることになりました。行事にお手伝い頂く、ボランティアの方々にも一部使わせて頂きます。

◎連協の一泊二日研修旅行は、コロナ禍のために休止になっていましたが、今年は再開する方向で動いています。

- ・日 時 九月四日(日)～五日(月)
- ・行 先 東北方面
- ・詳細は、お知らせ七月号でご案内します。

◎五月のバス旅行はありません。

今年度から、バス旅行の回数を減らしたので、五月、七月は日帰りバス旅行はなくなりました。



第17回通常総会案内

法人取得17回(通年28回目)の通常総会を開きますので、皆様のご参加をお待ちしております。

◎日 時 六月十九日(日) 11時から
 ◎会 場 三軒茶屋キャロットタワー
 26階スカイキャロット

*ご希望の方は送迎します。

- ◎総会議事
- 令和三年度 事業報告
 - 令和三年度 会計報告
 - 令和三年度 移送事業報告
 - 令和三年度 監査報告
 - 令和四年度 事業計画案
 - 令和四年度 予算案
 - その他
- ◎懇親会 (総会終了後、同会場で開催 予定時間12時30分〜15時)

- *懇親会に出席される方は、会費三千円を頂きます。
- *資料は五月中旬に発送しますので、六月五日(日)必着にてご返事下さい。
- 尚、欠席される方は「委任状」をお願い致します。
- *総会出席者は、総会資料を必ずご持参下さい。

総会会場案内図

三軒茶屋キャロットタワー26F
 レストランスカイキャロット
 電話 03-5430-1185



◎理事会を開催します

総会・記念式典の前に理事会を開催します。理事の方は、現地キャロットタワー内会場に10時までにお集り下さい。

編集後記

今年の大型連休は、久しぶりの人出で、何処の観光地も若い人や家族連れで賑わっている様子が、テレビや新聞等で報じられていました。私は何の計画も無く、何処にも出かけずに家に居ました。例年だと、福島方面や長野の志賀高原の方にカメラを持って出かけていた。何か年と共に出かけるのが億劫になってきた気がします。確かに歩くのが、多少面倒になってきました。娘が、毎日歩かないと歩けなくなるよ!と言っています。暖かくなったら、近所を散歩しようと、気持ちだけはあります。ヒューマンハーバーを始める前は、山の会を二十三年位やっていて、北アルプス、南アルプス、中央アルプス等を、毎年登っていたのですが、今は麓から写真を撮るのが一杯ですね。何はともあれ、あと三年、九十歳までは頑張らないと、と思つて、日々己にムチを打つて?います。(S記)

「ひまわり通信」104号

2022年5月20日発行

編集

特定非営利活動法人

編集責任者

ヒューマンハーバー世田谷

住所

世田谷区野沢3-4-18 102

〒

158-8501

TEL

03-3487-5081

FAX

03-3422-9281

発行人

障害者団体定期刊行物協会
 世田谷区砧6-26-21 (定価100円)